



平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京ドーム

コード番号 9681 URL <http://www.tokyo-dome.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久代 信次

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 小田切 吉隆

TEL 03-3811-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年6月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	18,121	45.2	1,542	—	988	—	787	—
24年1月期第1四半期	12,482	△32.6	△1,940	—	△2,612	—	△3,949	—

(注) 包括利益 25年1月期第1四半期 1,520百万円 (—%) 24年1月期第1四半期 △5,484百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第1四半期	4.13	—
24年1月期第1四半期	△20.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第1四半期	301,974	53,964	17.9	283.05
24年1月期	297,848	52,427	17.6	275.10

(参考) 自己資本 25年1月期第1四半期 53,964百万円 24年1月期 52,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年1月期	—	—	—	—	—
25年1月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,300	16.3	4,400	226.7	3,200	—	2,300	—	12.07
通期	78,200	6.8	8,600	63.8	5,900	152.6	4,500	—	23.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年1月期1Q	191,714,840 株	24年1月期	191,714,840 株
25年1月期1Q	1,060,544 株	24年1月期	1,140,639 株
25年1月期1Q	190,576,880 株	24年1月期1Q	190,520,322 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において、昨年度は東日本大震災の影響やそれに伴う節電に起因するプロ野球やコンサートイベントの延期やキャンセルがありました。本年度は予定通り順調に開催されており、売上高は181億2千1百万円(前年同四半期比45.2%増)となりました。

以上の結果、営業利益は15億4千2百万円(前年同四半期比34億8千3百万円の増益)、経常利益は9億8千8百万円(前年同四半期比36億円の増益)、四半期純利益は7億8千7百万円(前年同四半期比47億3千7百万円の増益)となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

<東京ドームシティ>

(東京ドーム)

東京ドームは、プロ野球・コンサートイベントが順調に開催されており、大幅な増収となりました。

(東京ドームシティアトラクションズ)

東京ドームシティアトラクションズは、東京ドームシティアトラクションズの通期営業やバイキングゾーンのリニューアルオープン等があり増収となりました。

(東京ドームホテル)

東京ドームホテルは、昨年度の東京ドームシティ内のイベントの中止や延期、東日本大震災や福島第1原発事故の影響によるインバウンドの減等の低稼働率からは回復し、増収となりました。

(ラクーア)

ラクーアは、東京ドームシティ内のイベントの順調な開催、東京ドームシティアトラクションズの通期営業などにより来場者が増加し増収となりました。

(ミーツポート)

ミーツポートは、イベントが順調に開催されており、増収となりました。

以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は131億2千6百万円(前年同四半期比61.2%増)、営業利益(セグメント利益)は25億5千8百万円(前年同四半期比31億5千4百万円増益)となりました。

<流通>

ショッピングインは、昨年度の東日本大震災の影響による関東圏店舗の休業・営業時間短縮から通常営業に戻ったことや、新店舗のオープンなどがあり増収となりました。

以上の結果、売上高は17億8千7百万円(前年同四半期比1.8%増)、営業損失(セグメント損失)は△1千2百万円(前年同四半期比1千3百万円の改善)となりました。

<不動産>

松戸公産㈱が、昨年度に取得した賃貸オフィスビル「代々木イースト」の通期稼働により増収となりました。

以上の結果、売上高は3億8千6百万円(前年同四半期比6.3%増)、営業利益(セグメント利益)は1億6千5百万円(前年同四半期比75.3%増)となりました。

〈熱海〉

熱海後楽園ホテルは、東日本大震災の影響から稼働率が回復し、増収となりました。

以上の結果、売上高は9億7千3百万円（前年同四半期比64.1%増）、営業損失（セグメント損失）は△2千2百万円（前年同四半期比2億4千7百万円の改善）となりました。

〈札幌〉

東京ドームホテル札幌は、東日本大震災の影響から回復傾向にあり増収となりました。

以上の結果、売上高は5億3千1百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業損失（セグメント損失）は△9千8百万円（前年同四半期比1千7百万円の改善）となりました。

〈競輪〉

松戸競輪場は、東日本大震災の影響による開催休止等から回復し、増収となったものの開催日数の増加による営業費用も増加いたしました。

以上の結果、売上高は5億1百万円（前年同四半期比33.2%増）、営業利益（セグメント利益）は1千2百万円（前年同四半期比62.4%減）となりました。

〈その他〉

その他事業全体での売上高は10億5千5百万円（前年同四半期比10.9%増）、営業利益（セグメント利益）は4千9百万円（前年同期比601.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、手元流動性資産の増加、東京ドームシティアトラクションズの新遊戯機械の取得や株価の上昇により3,019億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億2千6百万円の増加となっております。

なお負債は、低金利で好条件の長期借入金の調達が可能であったため、調達を先行させ2,480億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ25億8千9百万円の増加となっております。

また純資産は、四半期純利益の計上により539億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億3千7百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月15日付「平成24年1月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,658	12,892
受取手形及び売掛金	2,773	3,592
有価証券	—	92
たな卸資産	1,195	1,427
繰延税金資産	2,665	2,562
その他	1,466	2,148
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	18,752	22,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	214,780	214,936
減価償却累計額	△117,549	△118,860
建物及び構築物(純額)	97,231	96,076
機械装置及び運搬具	13,903	14,366
減価償却累計額	△10,663	△10,840
機械装置及び運搬具(純額)	3,240	3,526
土地	143,246	143,246
建設仮勘定	105	31
その他	18,313	18,504
減価償却累計額	△13,914	△14,161
その他(純額)	4,399	4,342
有形固定資産合計	248,223	247,224
無形固定資産		
借地権	425	425
ソフトウェア	247	276
その他	168	165
無形固定資産合計	842	867
投資その他の資産		
投資有価証券	16,873	18,164
長期貸付金	1,080	1,059
繰延税金資産	7,368	7,082
その他	3,319	3,363
貸倒引当金	△154	△153
投資その他の資産合計	28,487	29,516
固定資産合計	277,553	277,608
繰延資産		
社債発行費	1,543	1,656
繰延資産合計	1,543	1,656
資産合計	297,848	301,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	663	1,267
1年内償還予定の社債	25,096	25,634
短期借入金	35,790	32,615
未払法人税等	431	149
賞与引当金	360	646
ポイント引当金	101	92
商品券等引換引当金	10	10
災害損失引当金	79	67
その他	18,024	23,088
流動負債合計	80,558	83,570
固定負債		
社債	65,101	64,041
長期借入金	59,679	60,470
受入保証金	4,231	4,152
繰延税金負債	22	36
再評価に係る繰延税金負債	30,811	30,811
退職給付引当金	3,035	3,036
執行役員退職慰労引当金	95	82
その他	1,886	1,808
固定負債合計	164,862	164,439
負債合計	245,421	248,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	830	804
利益剰余金	379	1,166
自己株式	△485	△442
株主資本合計	2,762	3,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,043	△245
土地再評価差額金	50,872	50,872
為替換算調整勘定	△163	△229
その他の包括利益累計額合計	49,664	50,397
純資産合計	52,427	53,964
負債純資産合計	297,848	301,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)
売上高	12,482	18,121
売上原価	12,923	15,110
売上総利益又は売上総損失(△)	△441	3,010
一般管理費	1,499	1,468
営業利益又は営業損失(△)	△1,940	1,542
営業外収益		
受取利息	19	15
受取配当金	49	49
為替差益	119	44
持分法による投資利益	131	76
その他	29	36
営業外収益合計	348	223
営業外費用		
支払利息	666	610
その他	353	166
営業外費用合計	1,020	777
経常利益又は経常損失(△)	△2,612	988
特別利益		
受取保険金	—	19
補助金収入	—	41
貸倒引当金戻入額	4	—
その他	0	—
特別利益合計	4	61
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	175	37
解体撤去費	176	29
事故に起因する営業補償等	419	—
その他	281	—
特別損失合計	1,053	69
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,660	980
法人税、住民税及び事業税	33	109
法人税等調整額	255	83
法人税等合計	289	192
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,949	787
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,949	787

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,949	787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,360	799
持分法適用会社に対する持分相当額	△174	△66
その他の包括利益合計	△1,534	732
四半期包括利益	△5,484	1,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,484	1,520

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高 外部顧客への 売上高	7,931	1,754	362	593	522	375	11,539	942	12,482	—	12,482
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	208	—	1	0	2	0	213	8	222	△222	—
計	8,140	1,754	363	593	525	376	11,753	951	12,705	△222	12,482
セグメント利益 又は損失(△)	△595	△26	94	△269	△115	33	△879	7	△872	△1,068	△1,940

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、㈱東京ドームスポーツによる横浜「スパイアス」の運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,068百万円には、セグメント間取引消去△81百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△986百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高 外部顧客への 売上高	12,902	1,787	385	973	528	499	17,076	1,045	18,121	—	18,121
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	223	—	1	0	2	1	229	10	240	△240	—
計	13,126	1,787	386	973	531	501	17,306	1,055	18,361	△240	18,121
セグメント利益 又は損失(△)	2,558	△12	165	△22	△98	12	2,602	49	2,652	△1,109	1,542

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、㈱東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,109百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△1,125百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結累計期間において「その他」に含まれていた「競輪」については、前第2四半期連結会計期間において量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。